

特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会
第 29 回理事会議事録

日時 2023 年 9 月 6 日(水)14:00~17:30
場所 東京大学柏の葉キャンパス 駅前サテライト 6 階 605(千葉県柏市)、オンライン
出席者 山西芳裕理事長、浜田道昭副理事長、沖真弥理事、鎌田真由美理事・幹事・地域部会長、佐藤健吾理事、夏目やよい理事、松井求理事、山下理宇理事・幹事、浅井潔理事、岩崎涉理事・幹事、大上雅史理事・幹事、河口理紗理事、小寺正明理事、水谷紗弥佳理事
(表決書提出) 川上英良理事、木下聖子理事、清水佳奈理事、松田秀雄理事、松本拡高理事・幹事
以上 19 名出席扱い
オブザーバ 五斗進幹事、白井剛幹事、尾崎遼幹事、武藤愛幹事、齋藤裕幹事、奥田修二郎幹事、西村陽介監事、河合盛進監事、池松真也地域部会長、事務局総務牛山絵美子
議長 山西芳裕理事長(定款 35 条による)

配布資料

議事次第

(審議事項参照資料)

別紙 s1 理事会審議事項(第一号議案~第二号議案)

(報告事項参照資料)

別紙 h1.1 年会幹事 2023 年度年会について

別紙 h1.2 年会幹事 2024 年度年会について

別紙 h2 会計幹事 会計中間報告(7 月締め・未完成)

別紙 h5 研究会幹事 2023 年公募研究会開催記録

別紙 h7 JSBi Bioinformatics Review 幹事 活動報告

別紙 h8 ダイバーシティ幹事 活動報告

別紙 h9 ISCB 幹事 活動報告

別紙 h14 活性化幹事 活動報告

別紙 h17.1 総務幹事 メール審議議事録

別紙 h17.2 総務幹事 会員数の推移

別紙 h17.3 総務幹事 ホームページビュー数

別紙 h18.1 会長報告 要望書のルール

別紙 h18.2 会長報告 後藤修先生からの寄付金

別紙 h18.3 会長報告 賛助会員の特典について

別紙 h20 北海道地域部会 2023b-03 第1回北海道バイオ Mix-up

別紙 h22 関西地域部会 2023a-02 第 34 回バイオメディカル研究会「配列を超えたゲノム構造解析の最前線」

別紙 h26 公募研究会 2023a-01 質量分析インフォマティクス研究会「構造生物学に質量分析で挑む」

山西理事長、浜田副理事長より第 29 回理事会開催にあたって挨拶があり、議事録署名人として岩崎渉理事、松井求理事が指名され、満場異議なくこれを承認した。

議案

〈審議事項〉

第一号議案 名誉会員の推薦の承認可否

山西理事長より、名誉会員推薦に関する覚書に基づき、別紙 s01 を基に、新規名誉会員として富田勝会員・清水謙多郎会員を理事会として推薦したい旨が説明された。慎重に審議した結果、満場一致で可決され、2024 年 3 月の総会に議案として付議することが承認された。

第二号議案 関西地域部会長の交代についての承認可否

山西理事長より、別紙 s01 を基に、2023 年 10 月より関西地域部会長を鎌田真由美幹事・地域部会長から小川哲平会員へと変更したい旨が説明され、満場一致で異議なく可決された。

〈報告事項〉

【各幹事、会長からの報告】

1 年会(木下賢吾幹事・地域部会長、山下理事・幹事、岩崎理事・幹事)

2023 年年会長の山下理事・幹事より、年会の準備報告があった。特に、予定をかなり上回る 540 名という参加登録者数となったことが報告された。2024 年年会長の岩崎理事・幹事より、別紙 h01 に基づき年会開催準備の進捗報告があった。特に、2024 年 10 月 22 日～25 日に那覇文化芸術劇場なは一と(沖縄県那覇市)で開催されること、アジアパシフィック地域のバイオインフォマティクス関連学会・団体が合同で開催するアジア初の共同国際会議となる旨が報告された。

木下賢吾幹事・地域部会長は欠席であったため、山西会長より代わりに 2025 年年会について説明があった。場所は愛知県名古屋市の、大会長は白井剛会員を予定している旨が報告された。これらの承認については、後日メール審議にて行うこととなった。

2 会計(大林幹事)

大林幹事が欠席であったため、山西会長より代わりの報告があった。今回、学会支援機構による会計入力作業が間に合わず、結果として、2023 年 1 月 1 日から 7 月 31 日を対象とする中間決算を確定させることができなかったことが報告された。学会支援機構には、会計スケジュールの確実な履行を求めていくこと、また、最終決算では、学会支援機構が円滑に会計業務を実施するとともに、年会と認定試験の会計情報を早期に学会支援機構に送ることが重要であり、年会と認定試験の会計担当の協力が必要な旨を確認した。中間会計報告については、後日理事幹事 ML にて回覧することとなった。

3 認定試験(白井理事・幹事)

白井理事・幹事が発話できない状況であったため、山西会長より報告があった。バイオインフォマティクス技術者認定試験については、本年より年 2 回の実施となったことが報告された。また、第 1 回を 7/1(土)～8/6(日)に実施し、受験者 164 名・合格者 85 名(合格率 59.4%)であったことが報告された。第 2 回につ

いては、11/11(土)～12/10(日)に実施予定であり、現在、出題の査読作業中であることが報告された。

- 4 人材育成(有田理事・幹事、白井幹事)
報告事項は特になかった。
- 5 研究会(岩崎幹事)
岩崎理事・幹事より、別紙 h4 に基づき、2023 年度公募研究会の開催報告があった。
- 6 ニュースレター(尾崎幹事、松本理事・幹事)
尾崎幹事より、ニュースレター第 42 号・第 43 号の発行報告と次回の発行予告があった。また、今回の年会に合わせて、紙媒体の冊子を印刷し、配布する旨の報告があった。
- 7 JSBi Bioinformatics Review(松本理事・幹事、尾崎幹事)
尾崎幹事より、別紙 h7 に基づき、JSBi Bioinformatics Review に関する報告があった。アクセス数は順調に伸びており、次号(4 巻 2 号)は 11 月に発行予定である旨が報告された。加えて、執筆希望者や推薦などの依頼があった。さらに、2020 年から 2023 年分の紙媒体冊子を 500 冊ずつ印刷し、配布する旨の報告があった。
- 8 ダイバーシティ推進(武藤幹事)
武藤幹事より、別紙 h8 に基づき報告があった。特に、本学会の会員数が増えたことで、男女共同参画学協会連絡会の分担金が 1.5 万円に増加することが報告された。また、年会における託児所の設置の必要性や効果に関する意見交換が行われた。進化学会大会での試みや、懇親会への子供の参加、子連れセッションの可能性等について意見が交わされ、年会アンケート項目の追加を検討することになった。
- 9 ISCB(岩崎理事・幹事)
岩崎理事・幹事より、別紙 h9 に基づき、ISCB に関する報告があった。特に、岩崎理事・幹事の ISCB Board Member の任期が 2024 年 1 月で終了する一方で、改選の結果、山西会長が新たに ISCB Board Member 就任することになったことが報告された。それに伴い、来年度の ISCB 幹事を山西会長に交代する予定であることが報告された。
- 10 若手(大上理事・幹事)
大上理事・幹事より、Oxford Journals - Japanese Society for Bioinformatics Prize として岩田通夫会員が選出されたことが報告された。また、本年会において、若手との連携セッションの企画提案があったことについて評価するコメントがあった。
- 11 渉外(浜田理事・幹事)
浜田理事・幹事より、8 月に賛助会員として H.U.グループホールディングス株式会社が入会したことが報告された。

- 12 連携(鎌田理事・幹事・地域部会長)
鎌田理事・幹事・地域部会長より、別紙 h12 に基づいて、他学会との連携状況について報告があった。年会での連携セッションへの協力が求められるとともに、高等学校の生物教育における教育用語集について意見を集めたい旨の要請があった。引き続き、メールにて意見収集をはかることになった。
- 13 広報(齋藤幹事)
齋藤幹事より、広報に関する報告があった。また、2023 年年会のホームページについて、学会ウェブサイト以下に保存するために、山下理事・幹事・年会長と調整することになった。
- 14 活性化(奥田幹事)
奥田幹事より、別紙 h14 に基づき、教育用動画コンテンツの拡充についての報告があり、意見交換がなされた。池松沖縄地域部会長からは、沖縄県委託事業の人材育成講座についての紹介があった。岩崎理事・幹事からは、科研費先進ゲノム支援のホームページにも動画教材があることが紹介された。河口理事よりサブスクなどにして運営することの提案や、岩崎理事・幹事より JSBi レビューに おすすめのリンク集の論文を執筆するなどの提案があった。齋藤幹事より、ホームページにリンク集を作る程度であれば作業量としては多くないとの意見があった。
- 15 個別化医療推進(木下賢吾幹事・地域部会長)
特に報告はなかった。
- 16 Genome Informatics (山西理事長)
山西理事長より Genome Informatics 誌に関する経緯の説明があった。
- 17 総務(岩崎理事・幹事)
岩崎理事・幹事より別紙 h17 に基づき、会員数等の統計情報およびメール審議(2023 年 3 月～2023 年 8 月)についての報告があった。
- 18 会長(山西理事長)
山西理事長より、別紙 h18 に基づき、サポートレター等への要望依頼への対応体制を構築したことの報告のほか、後藤名誉会員による寄付金活用について報告があった。浅井理事より、後藤修賞については、今年度から運用しても問題ないのでは、と意見があった。また、岩崎理事・幹事から、来年は国際学会で形式が異なるため、今年の年会より始めたほうが良いと意見があった。理事会としては、可能であれば今年度から運用開始した方がいいという方向性が定まり、2023 年年会長と調整することとなった。また、賛助会員の特典について確認を行い、企業からの声に基づき、今後もアイデアを募ることになった。夏目理事より、事前に年会でアポイントメントなどをとれる手段を作ったらどうか、また、発表者で企業に興味のある者を募り、企業ヘリストを提示しマッチングを促進したらどうか、といった意見があった。

- 19 会長補佐(木下賢吾幹事・地域部会長、岩崎理事・幹事)

特に報告はなかった。

【地域部会長からの報告】

- 20 北海道地域部会(遠藤地域部会長)

別紙 h20 に基づき、報告事項を確認した。

- 21 東北地域部会(木下地域部会長)

特に報告はなかった。

- 22 関西地域部会(鎌田地域部会長)

別紙 h22 に基づき研究会開催の報告があった。また、地域部会長の変更予定について報告があった。山西会長より学会員への資料配布について高く評価するコメントがあった。

- 23 中国・四国地域部会(森田地域部会長)

特に報告はなかった。

- 24 九州地域部会(山西地域部会長)

特に報告はなかった。

- 25 沖縄地域部会(池松地域部会長)

池松地域部会長より、活動報告があった。バイオインフォマティクス人材育成講座を全国展開できるようになったこと、資料などいずれは公開できるように進めていることについて報告があった。

- 26 公募研究会 質量分析分析インフォマティクス研究会(山本博之)

2023年5月12日に開催された公募研究会について、確認を行なった。理事会時の公募研究会意見交換会については、報告書提出の義務化に伴って不要となったことが確認された。

- 27 監事からのコメント(河合監事、西村監事)

河合監事より、託児所についてのコメントがあった。海外の学会では、1時間15ドル等の外部委託の制度があったことや、札幌年会で利用可能だった大学内での一時保育(一日数千円)が便利だったことについての指摘があった。夏目理事からも、仙台年会では一日保育があり助かったとの発言があった。今回の柏年会においては、一時保育の託児所設置に1日10万円以上かかるため、利用者が少ない場合には断念せざるを得ないとの意見も出された。その場合でも、保育してくれる方の交通費や宿泊費を学会が負担すれば助かるとの意見もあった。武藤幹事より、年会側でいろいろなサポートを用意するのは参加者からしたらとても助かること、また水谷理事より、お金が出ない場合でも情報を掲載することだけでもよいこと、要旨締切の時点で案内があることが理想であることが指摘された。また、武藤幹事から、年会で託児予算を用意するのではなく、学会本体から予算を組んだら助かるとの意見があった。水谷理事より、懇親会には子連れではなかなか参加できないこと、土日の学会参加が

難しい(保育園の申請は1ヶ月前までなどが多い)ことについての指摘があり、機会の均等への期待や、懇親会に子連れ OK と記載することへの希望が述べられた。こうしたことについて、年会引き継ぎ事項へ追加することが武藤幹事より提案された。また浜田副会長より、年会長としては赤字を出さないように進める心理があるため、託児所予算として学会から出すことを決めた方が良いという旨の発言があった。岩崎理事・幹事より、年会準備金として学会で計上している100万円については、そうした支出に充て、学会としては返却を前提としているわけではない旨が述べられた。ここで夏目理事より、託児所を女性支援の一環として位置付けずに、ダイバーシティ推進として位置づけた方が良いとの意見があった。河口理事より、ダイバーシティ推進の担当者、具体的には幹事が毎年の年会の組織委員会に入り、この点で年会組織委員会を支援することの提案があった。武藤幹事より、アドバイザー的な立場で関わることについての提案があった。最後に西村監事より、今年度の託児所の負担金について、5,000円という上限は十分でなく、全額負担でも良いのではないかとこの意見があった。

以上

以上により議事が終了し、議長は 17 時 30 分閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするために、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

2023 年 9 月 6 日

特定非営利活動法人日本バイオインフォマティクス学会

理 事 長 山西 芳裕 印

議事録署名人 岩崎 涉 印

議事録署名人 松井 求 印